

News of the forest



岐阜県の森林・林業

No.862

2025 July

FREE

ご自由にお持ちください。



森のたより

緑の中でリフレッシュ
(川辺町山楠公園)



開催日	行事名等	内容等	場所
			申込(問合せ)先/TEL
8月2日(土)	ぎふ木遊館 サマーフェスタ (特別企画)	竹下景子名誉館長と元みんなの森 ぎふメディア コスモス総合プロデューサー吉成信夫氏による クロストークを行います。(事前予約制) ●時間：13:00~14:30 ●定員：40名 ※小学生以上(小学生以下保護者同伴)	ぎふ木遊館 (岐阜市学園町 2-33) ぎふ木遊館 TEL：058-215-1515 
8月8日(金)	狩猟免許試験 (わな猟)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間：9:30~17:00 ●申込：7/4~7/18 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは 右記にお問い合わせください。	岐阜県立森林文化アカデミー 各地域を所管する県事務所等、 または環境生活政策課 TEL：058-272-8231



目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け) 2
 緑化功労者表彰状、緑の募金感謝状を伝達・贈呈しました 3
 G-クレジットの新規認証について 4
 企業との協働による森林づくり 4
 ぎふ森のある暮らし会員紹介 5
 地域の人 西濃管内の菌床シイタケ生産者をご紹介 6
 スギ人工林の伐採・植替えを進めませんか？花粉発生源対策事業の紹介 7
 脱炭素社会 ぎふを支える人づくりツアー 8
 多発する山地災害への備え 9
 令和7年度 山地災害防止標語及び写真コンクール 9
 わが組合の頑張るフレッシュヤーズ 10
 山の歳時記 239 ミヤマハハソ 11
 ぎふ木遊館通信 12
 morinos レンタルセット紹介!! 13
 シリーズ『森林・環境税』：緑豊かな清流の国ぎふづくり (3) 14
 木の香るぎふの施設 147 高山市高根多目的センター 15
 森林と人を活かす知恵 150 16
 歴史をつなぎ山の景色を「感謝」に変えてくれた先輩の一言 17
 研究コーナー ハナノキを加害するツヤバゴダラカミキリ 18
 普及コーナー 飛騨地域の広葉樹活用推進について 19
 森林技術開発・支援センター きのご通信⑧ 20
 国有林の現場から 105 伊勢神宮 式年遷宮特集〜三ッ緒伐りと鳥糞立 21
 林業者向けお知らせ 22
 市況 22

今月の表紙



川辺町山楠公園で行われたバランスボールを使ったエクササイズの実施風景。緑は心身のバランスを整え、リラックス効果があり、また森や木の香り(フィトンチッド)には精神安定効果があると言われています。

緑化功労者表彰状、緑の募金感謝状を 伝達・贈呈しました

6月6日（金）に開催した公益社団法人岐阜県緑化推進委員会第14回定時総会の席上で、小原尚会長（県議会議長）、久松一男岐阜県林政部長から次の方々に表彰状並びに感謝状を伝達・贈呈しました。

なお、令和6年度の「緑の募金」は感謝状を贈呈した方々をはじめ多くの県民の皆様方のあたたかいご支援により、総額 56,037,561 円の募金がありました。改めまして皆様に感謝を申し上げますと共に、今後ともご協力よろしく申し上げます。

「緑化功労者」岐阜県緑化推進委員会会長表彰

二日町自治会（郡上市）

「緑の募金」国土緑化推進機構理事長感謝状 （50万円以上の寄附者）

ダイードリンク株式会社（大阪府大阪市）

「緑の募金」岐阜県緑化推進委員会会長感謝状 （10万円以上の寄附者）

高橋利見（岐阜市）

ダイードリンク株式会社（大阪府大阪市）

株式会社河合寿司（大垣市）

一般財団法人タイム技研社会貢献委員会
（愛知県丹羽郡大口町）

株式会社十六フィナンシャルグループ（岐阜市）

マックスバリュ東海株式会社（静岡県浜松市）

中部事務機株式会社（岐阜市）

株式会社大垣共立銀行（大垣市）

株式会社ファミリーストアさとう（高山市）

「緑化功労者」林野庁長官賞

内木篤志（中津川市）

（敬称略）

《「緑化功労者」岐阜県緑化推進委員会会長表彰》



左から小原会長、二日町自治会

《「緑の募金」国土緑化推進機構理事長感謝状》



左から小原会長、ダイードリンク（株）

《「緑の募金」岐阜県緑化推進委員会会長感謝状》



左から（株）大垣共立銀行、ダイードリンク（株）、小原会長
高橋利見、中部事務機（株）、（株）ファミリーストアさとう

《「緑化功労者表彰」林野庁長官賞》



左から久松林政部長、内木篤志

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 田中 敏隆】

令和7年6月20日に第5回G-クレジット制度運営認証委員会を開催しました。

今回は今年3月に登録したプロジェクトを含む、15件のプロジェクトにおいてクレジットの認証申請があり、合計で3,885t-CO2のクレジットを新たに認証しました。

今後もG-クレジットの創出及び活用方法を拡充し、取引の活性化を図ってまいります。

表. 今回認証したクレジット

	プロジェクト実施者	実施場所	認証回数	認証量 (t-CO2)
1	中津川市	中津川市	3	459
2	東白川村森林組合	東白川村	3	111
3	本巣市森林組合	本巣市	2	537
4	(有)フォレスト板取	美濃市	2	148
5	揖斐郡森林組合	揖斐川町	2	506
6	(有)大原林産郡上森づくり協同組合	郡上市	初	214
7	中濃森林組合	美濃市	初	196
8	陶都森林組合	瑞浪市	初	107
9	恵那市	恵那市上矢作町	初	687
10	中津川市森林組合	中津川市	初	193
11	南ひだ森林組合	下呂市	初	343
12	岐阜中央森林組合	山県市	初	84
13	はぎわらe(株)	下呂市	初	56
14	飛騨高山森林組合	白川村	初	87
15	錦津生産森林組合	八百津町	初	157
計				3,885

※プロジェクト実施者の連絡先、取引可能クレジット量等は、G-クレジット制度運営事務局HP (<https://gcredit-gifu.jp/>) をご確認ください。
 詳細な販売時期や条件等は、プロジェクト実施者にお問い合わせください。



G-クレジット制度
運営事務局HP



企業との協働による森林づくり



県では、県民協働による森林づくりの一環として、「企業との協働による森林づくり」を推進しています。過日新たに2件の森林づくり協定を締結し、協定締結件数は39件（うち4件は期間終了）となりました。

38

太平の森 白川

令和7年2月20日に、株式会社太平製作所（愛知県小牧市）、白川村及び県の3者で、森林づくり協定を締結しました。広葉樹の植樹等森林整備活動を実施することにより、森林づくりに貢献します。

- 場 所：大野郡白川村平瀬地内（面積1.24 ha）
- 森の名称：「太平の森 白川」
- 協定期間：令和7年2月20日～令和27年3月31日（20年間）
- 主な活動：植樹など森林整備活動

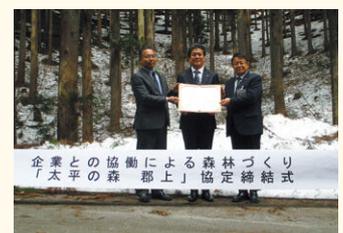


39

太平の森 郡上

令和7年3月27日に、株式会社太平製作所（愛知県小牧市）、郡上市及び県の3者で、森林づくり協定を締結しました。植樹及び間伐等の森林整備活動をとおして、森林づくりに貢献するとともに、地域社会との交流を図ります。

- 場 所：郡上市大和町栗巣字黒手地内（面積8.00 ha）
- 森の名称：「太平の森 郡上」
- 協定期間：令和7年3月27日～令和12年3月31日（5年間）
- 主な活動：植樹、間伐等森林整備活動





県では、豊かな価値を有する森林空間を活用する「森林サービス産業」など、森林の新たな価値の創造を推進しています。このコーナーでは、県内で「森林サービス産業」に取り組んでいる事業者の皆さんをご紹介します！

※「森林サービス産業」とは

山村地域に新たな雇用と収入機会を生み出すため、森林空間を健康、観光、教育等の多様な分野で活用するサービス産業。その推進母体として、令和5年1月に「ぎふ森のある暮らし推進協議会」を設立

第3回 「株式会社シシガミカンパニー」



どんな活動をしているのですか？

シシガミカンパニーは森林の新しい活用方法を創り出すことで、新しいマーケットの創出と心身ともに豊かな社会を目指す森林ベンチャーです。

デジタル社会にプライベートな森林空間を手軽に持てる 森林レンタル「フォレンタ」

いつでも行ける自分だけの森林空間
24時間365日予約なしで利用可能

- 1区画 平均200坪
- 主にキャンパー向けに貸し出し
- 年間契約（契約満了時に更新可能）
- 料金66,000～132,000円/年
- チェックイン、アウト不要

アウトドアブームを機にスタートしたフォレンタは年間契約で森林を借りられるサービスです。予約などが不要で、いつでも好きな時に好きなだけいることが出来ます。また、ブッシュクラフトや山菜採りなど一般的なキャンプ場では出来ない過ごし方をできることが特徴であり、何日にも亘ってウッドデッキや秘密基地のようなものを作るなど、自分のやりたいことを実現する新しいレジャーの形です。

フランチャイズで全国に広がるフォレンタ

フォレンタのノウハウをフランチャイズ化して広めています。R7年5月末現在で全国16道府県29エリアが展開中。加盟金はなく、売上が上がってはじめてロイヤリティを支払う仕組み。日々の運営業務は月に2回程度の見回りを行えばよく、一般のサラリーマンの方でも副業としてフォレンタを運営されています。ご自身の持つ森林をもっと活用したい、とお考えの方はどうぞフォレンタまでご連絡ください。



【森の中でテントを張ってワイルドキャンプを楽しむ】



【手作りの小屋を作って自分だけの楽しみ方をする利用者】



今後の「森林サービス産業」への期待を教えてください！

山村の大きな資産である森林の活用方法は無限にあります。仕組みを作って事業化することで新たな人流やマーケットが生まれ、山村地域が活性化することを期待しています。

- ホームページ シシガミカンパニーHP: <https://www.shishigami.jp>
フォレンタHP: <https://www.forenta.net>
- 連絡先 電話:050-3095-4884(代表)
メール:contact@shishigami.jp

ぎふ森のある暮らし推進協議会では、県内で「森林サービス産業」に取り組んでいる／取り組もうとしている方を会員として募集しております。詳しくは下記までお問い合わせください。

TEL:058-272-8472 メールアドレス:c11513@pref.gifu.lg.jp

協議会HPはコチラ



地域の人



西濃管内の菌床シイタケ生産者をご紹介

東海アグリハウス株式会社

代表取締役

おかの みきお
岡野 幹央さん



今回は、当管内の菌床シイタケ新規生産者をご紹介します。
東海アグリハウス株式会社 代表取締役の岡野幹央さんにお話をお伺いしました。

シイタケ生産を始めたきっかけを教えてください。

当社は、農業分野で起業をしたい方の「確実かつ安定した事業の成功」という夢の実現に向け、土地探し・販売先の紹介・助成金のサポート・ビニールハウス設置などトータルサポートを行っております。

そうした仕事に日々取り組む中で、自分自身のことを考えた時に、

年をとっても長く続けられる仕事は何かと考えていました。
近くで菌床シイタケを栽培している方を目にして、「これだ」と思い、自分もチャレンジしました。

生産の規模を教えてください。

昨年10月から安八郡安八町にて、シイタケ生産を始め、現在、ハウス4棟、延べ床面積約1200平米あります。

シイタケ菌床を3千個/月、仕入れ、約3か月間で1菌床当たり800〜900グラムの収穫を目標に日々取り組んでいます。

シイタケ生産を始めて楽しいことはありませんか。

1回目の発生で、100グラム近い大きなシイタケが育った時はとてもうれしかったです。取引先もどのように扱ってよいかわからないと言われましたが、将来的には立派なシイタケを高価格で販売できればと考えています。



大サイズのシイタケ

シイタケ生産で工夫していることはありますか。

現在、シイタケ栽培に高濃度酸素水を使用し「安八超水しいたけ」という名称で販売しています。
近年、農作物の育成に「ナノバブル」が利用され、植物の生育促進、病害予防、品質向上等の効果が言われています。

高濃度酸素水を使い、「マイナスイオン化」や「ナノバブル」の技術により、シイタケ菌が活性化し、栄養素を効果的に吸収し、うま味や風味が増し美味しいシイタケが育ちます。

お客さんの反応は

当社のシイタケを食べたお客さんからは、「食べる」とジューシーでシイタケのだし汁がたっぷり、「うま味やコクがある」など高評価を

いただいております、リピーターが増えています。

今後の展望を教えてください。

高濃度酸素水を使ったシイタケ生産を安定して続けると共に、これからシイタケ生産を始める方のサポートができればと考えています。

地球温暖化により、年平均気温が上昇する中、シイタケ生産の環境は日々悪くなっています。また、生産者の数だけいろいろな課題があると思います。

これまでは、ハウス資材を販売していますが、資材を販売して終わりではなく、生産ノウハウや出荷先も提案できるようにすることを目指しています。



高濃度酸素水発生装置

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0584-731111(内線395)

西濃農林事務所林業課林務係まで

スギ人工林の伐採・植替えを進めませんか 花粉発生源対策事業の紹介

国は令和5年に、花粉症対策の一つとして、花粉の発生源であるスギ人工林の面積を令和15年度までに全国で約2割減少させる目標を掲げました。

これを受けて、現在、スギ人工林の伐採・植替えに関する支援策がありますので、スギ人工林を伐採し、花粉の少ない樹種へ植替えを進めてはいかがでしょうか。

支援策が活用可能な森林の場所

花粉発生源対策として、スギ人工林の伐採・植替えに関する支援策が活用可能な森林は、県によりスギ人工林伐採重点区域に設定されている必要があります。

具体的には、岐阜市、各務原市、山県市、本巣市、大垣市、海津市、養老町、垂井町、関ヶ原町、大野町、池田町、関市、美濃市、美濃加茂市、可児市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、御嵩町、多治見市、瑞浪市、土岐市、恵那市、郡上市の一部、揖斐川町の一部、飛騨市の一部にあるスギ人工林となります。詳細については、森林の所在場所を管轄する農林事務所にお問い合わせ下さい。



支援策① 伐採等作業への補助

【林相転換特別対策（特定スギ人工林）】

自助努力では伐採・植替えが進まない森林について、事業主体が市町および森林所有者との協定に基づき、スギ人工林の伐採と花粉の少ない苗木等への植替えを行う場合、伐採から植替えまでの作業に係る経費に対し補助します。

支援策② 協力金の支払い

【花粉の少ない森林への転換促進事業】

本事業は、森林所有者が、森林組合等の林業経営体への委託により、スギ人工林の伐採・植替えを行う場合に、協力金が支払われるものです。

なお、本事業は、国が（一社）日本森林技術協会を通じて実施しています。詳細については、同協会のウェブサイトをご覧ください。

スギ人工林の伐採・植替えにかかる支援策の概要

事業名	林相転換特別対策（特定スギ人工林）	花粉の少ない森林への転換促進事業
事業主体	市町村、森林組合等	林業経営体等
参考補助額等	<ul style="list-style-type: none"> ●伐採、地拵え、植栽、鳥獣害防止施設等整備に係る経費に対する補助 ●参考補助額 約 200 万円 /ha[*] ※条件により補助額は大きく変わります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●森林所有者に働きかけを行い森林経営計画を策定した林業経営体等に対し、12 万円 /ha ●上記の森林において、植替えに係る伐採を行った森林所有者に対し、最大 35 万円 /ha
要件の概要等	<ul style="list-style-type: none"> ●スギ人工林伐採重点区域内であること ●森林組合等が実施する場合、自ら所有する森林でないこと ●市町および森林所有者と協定締結すること ●植栽は、花粉の少ない苗木等を 2,000 本 / ha 以下で植栽すること ●1 伐区あたりの上限面積は概ね 2.5ha 以下など 	<ul style="list-style-type: none"> ●スギ人工林伐採重点区域内であること ●主伐に係る森林経営計画が未策定の森林で主伐に係る森林経営計画を策定すること ●花粉の少ない苗木等の植栽を計画すること ●森林整備地域活動支援交付金との併用不可 ●条件が合致した場合、林相転換特別対策（特定スギ人工林）との併用可など
問合せ先	各農林事務所林業課 Web サイト： https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2280.html	(一社) 日本森林技術協会 Web サイト： https://www.jafta-kafunsakugen.com

●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-8490 県庁森林経営課整備係まで

脱(炭)素(社)会(ぎ)ふ(を) 支える人づくりツアー

岐阜県では、森・里・川・海での自然体験や保全活動を通じて、流域のつながりや環境問題について親子で考え、環境にやさしい行動を学ぶ環境学習ツアーを実施しています。ぜひご参加ください。

【令和7年度ツアー】

実施日	コース名	対象年齢	主な行先	予定参加費/人
7/26 (土)	ライチョウ博士と探す 県の鳥・特別天然記念物「ライチョウ」	小学5年生以上	高山市	大人 3,690円 小人 3,690円
8/3 (日)	きれいな水に住むハリヨ観察とカワゲラウォッチング	小学3年生以上	大垣市	大人 3,090円 小人 3,090円
8/9 (土)	里山の景色と調和したせきがはら人間村で、働く大人から学ぶSDGs	小学1年生以上	不破郡関ケ原町	大人 3,100円 小人 3,100円
8/23 (土)	名和館長と昆虫採集を楽しもう 昆虫講座・鱗粉転写体験	小学5年生以上	高山市 岐阜市	大人 3,750円 小人 6,250円
8/24 (日)	野鳥観察と藤前干潟の生き物観察 & クリーンアップ活動	小学1年生以上	愛知県名古屋市	大人 3,080円 小人 3,080円
8/30 (土)	吉崎海岸クリーンアップ活動とアップサイクル貼り絵制作	小学1年生以上	三重県四日市市	大人 3,370円 小人 3,130円
8/31 (日)	はざこ博士と探す 特別天然記念物「オオサンショウウオ」	小学1年生以上	郡上市	大人 3,110円 小人 3,110円
9/6 (土)	アクア・トト ぎふ×自然発見館 川の生き物マップ作成 & クリーンアップ活動	小学3年生以上	各務原市	大人 4,950円 中学生 4,640円 小学生 4,240円
9/7 (日)	鉱山跡で自然が生んだ美しい結晶（蛍石）を探そう！自然のめぐみにふれる探検	小学1年生以上	下呂市	大人 8,200円 小人 8,200円
9/13 (土)	清流長良川あゆパークで、鮎のつかみどり体験と川の生き物の生態調査	小学1年生以上	郡上市	大人 6,430円 小人 3,230円

※参加対象者は、岐阜県内にお住まいの小・中学生と同伴の保護者（18歳以上の方）です。

お子様のみのご参加はできません。必ず保護者同伴でお申し込みください。

食物アレルギーがある場合は、申込時にご連絡ください。

※6月30日（月）12時から募集を開始しており、先着順のため、受付を終了している場合があります。



干潟の生き物観察(名古屋市)



鮎の串うち体験(郡上市)

ツアーの参加申し込みはWEBのみ(先着順)
右記2次元コードよりお申し込みください。

こちらの記事は募集記事ではございません。

ツアーのお問い合わせは (株) エイチ・アイ・エス
TEL 050-1752-8398 (月から金 10:00~17:00) (土・日・祝 休業)



清流ミナモ

多発する山地災害への備え

毎年7月を迎える頃から、全国各地で集中豪雨や大型台風による甚大な山地被害が発生しています。

このような被害を防止するため、県では、地形や地質から見て山崩れや土砂流出の危険度が高く、人家や道路へ直接影響が大きい箇所を山地災害危険地区として、重点的に治山事業を進めています。

また、災害による人的被害を減らすためには、自分の身は自分で守るという自助や周りの人たちと助け合うという共助の取組が重要となります。県民の皆様には、山地災害が発生する前にぜひ、自宅周辺などの山地災害危険地区や避難所並びに避難経路を確認するなど、事前の備えをお願いします。



山地災害危険地区の位置は、県域統合型GISからご覧になれます。

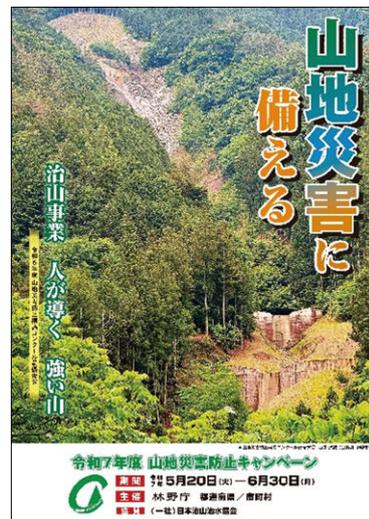
(<https://gis-gifu.jp/gifu/portal/index.html> より、「山地災害危険地区」で検索)

令和7年度 山地災害防止標語及び写真コンクール

林野庁、県及び市町村が一体となって実施している山地災害防止キャンペーン（5月20日～6月30日）の関連行事として、「山地災害防止標語及び写真コンクール」が、一般社団法人日本治山治水協会の主催で実施されています。

今年度も、山地災害防止に係る標語と写真作品を募集しています。（締切9月30日（火）当日消印有効）

毎年作成される山地災害防止キャンペーンポスターは、このコンクールで最優秀賞に選ばれた作品が採用されることもあります。多くの方からの応募をお待ちしています。



【標語及び写真コンクールの応募先及び問い合わせ先】

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル4階
（一社）日本治山治水協会 標語・写真コンクール係
TEL：03-3581-2288、FAX：03-3581-1410

【森林保全課 治山係】

わが組合の頑張るマレッツシヤーズ

【西南濃森林組合（大垣市）】

船戸健吾さん 2023年入社（愛知県名古屋出身）



寒さ、重機の扱い、足場の悪い山の中でも作業等、想像以上に体力も気力も使います。それでも、日々の仕事の中には大小さまざまな達成感を感じることがあります。それらが積み重なって自分を前向きにしてくれます。

【自信が付いてきた仕事】

先輩方に付いて、教えていただいたことは多岐にわたりますが、中でも伐採作業は自分自身の成長に大きな手ごたえを感じている部分です。最も基本的な作業ではありますが、その分奥深さがあり、どの方向に倒すかを判断し、思い通りの位置に倒せたと

きは言葉にできない喜びがあります。一本いっぽん木をよく見ること、地形や風向きを読むこと、その積み重ねが技術になるのだと感じています。

【ITへの思い】

これまでもいろいろな現場を経験させてもらいましたが、手入れがされず荒れてしまった山を目の前にすると、何とかしたい、少しでも良くしたいという思いが沸き上がってきます。一朝一夕にはいきませんが、そういう場所をひとつひとつ整えていくことで山全体の表情は変わり、次の世代に誇れる景色として、自分の仕事を残せるような気がしています。

力を重ねて、仲間から信頼される存在になりたいです。



間伐作業中の船戸さん

【代表者からのエール】

これからの林業を担っていくのは若い君たちです。今後のこの業界を力強くリードしていく存在になってくれることを期待しています。

【林業を志す人へのメッセージ】

山が好きで、体を動かすことに前向きな人にとって、この仕事はとても魅力的だと思います。自然の中で働く毎日は決して楽ではありませんが、その充実感があります。自分の手で山を育てていく、そんな仕事には是非挑戦して欲しいと思います。

【林業就業のきっかけ】

林業に興味を持ったきっかけは、自然の中で働いてみたいという、素朴な思いからでした。

もともと一次産業に関心があり、いずれば田舎で暮らしたいとも考えていました。そうした気持ちから少しずつ形になって、林業の選択に繋がったのだと思います。

【就業しての感想】

就業前から「林業は大変だよ。」と多くの人に言われてきましたが、正直、その言葉を聞き流していた部分もありました。実際に働いてみると、なるほど、確かに大変です。夏の暑さ、冬の



左 船戸さん

右 坂口組合長



植栽作業中の船戸さん



下刈作業中の船戸さん

【今後の抱負】

すべての作業を一通りこなせるようになることが目標です。まだまだ一人前には程遠いですが、地道に努

詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-26138008

「森のシヨフステーション」まで

YAMA NO SAJIKI
239
山の歳時記
ミヤマハハソ
文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事
川尻 秀樹

「ミヤマハハソの苗が欲しい」と、知人から問い合わせがありました。

それにしてもなぜミヤマハハソほどマイナーな樹種が欲しいのか理由を聞くと、アオバセセリの幼虫が食べるから、と返事が返ってきました。

アオバセセリ (Choraspes benjaminii) は本州、四国、九州、沖縄で山地の林縁部や溪流沿いに生息するセセリチョウ科のチョ

ウで、緑青色の翅を持つため漢字で青羽拵と記されます。この幼虫がミヤマハハソやアワブキの葉を食べるのです。

さて友人に聞かれたミヤマハハソ (Meliosma tenuis) はアワブキ科アワブキ属の落葉低木で、本州や四国、九州の丘陵帯から山地帯の湿った林内、特に沢筋や林縁などに多く生えています。

樹高は2〜3mで、枝や幹には暗紫色を帯びており、枝の先端は垂れ下がります。

葉は単葉で互生し、葉身は長さ5〜15cm、幅2.5〜6cmの倒卵形または倒卵状楕円形で、縁には波状の粗い鋸歯がありコナラの葉に似ています。葉は全体的に柔らかく、表面は濃緑色、裏面は緑色で両面とも毛があり、特に裏面の脈腋に褐色の毛が密生しています。

6〜7月には枝先に垂れ下がった円錐花序をつけ、淡黄緑色の花弁3枚が開いても直径約4mmの小

さな花を順次開花させます。花序の枝は少しづつジグザクに曲がっており、秋には直径3〜4mmで球形の果実(核果)が黒く熟します。

花の中には雄しべが折りたたまれて収まっており、昆虫が来て花に触れると雄しべが外側にピョンと弾き出て花粉の玉を飛ばし、昆虫の体に付着させたり、他の花に受粉させたりします。咲いている花をよく観察すると、時々弾けた花粉玉が飛ばないで、花弁の先端にくっついていることもあります。

この花粉を飛ばすシステムは、同じように湿ったところに生えるイラクサ科のカテンソウなどでも見られます。カテンソウも花蕾の中には雄しべが曲がって収まっているのですが、開花時に花弁を押し上げるように雄しべがはね上がり、花粉を飛ばすのです。

ミヤマハハソは漢字で深



枝先に円錐花序をつけるミヤマハハソ

山柞、深山母蘇、深山波波曾とも記されていますが、正しくは「柞」で、訓読みは「はほそ」、音読みは「さく」となります。

ミヤマホウソとかミヤマホースなどとも呼ばれますが、そもそもハハソ、ホウソとはコナラやクスギなどの古称で、鋸歯のある葉がコナラ(ハハソ)に似ており、奥山に生えているため「深山(みやま)」の接頭語がついているのです。

ぎふ木遊館通信

ぎふ木遊館ではぎふ木育にご賛同いただいた団体と連携し、活動しています。その一環として、今回はブース出展したイベントについてご紹介します。

GIFTS PREMIUM 6周年祭に出展しました!

5月10日に愛知県名古屋市にあるオアシス21内のGIFTS PREMIUMの6周年祭へ出展しました。今回のイベントでは県外のイベントということもあり、ぎふ木育の発信を兼ねて木のおもちゃに触れ合っただけ楽しんでもらいました。

利用者からは「木のおもちゃは高くてなかなか簡単に買うことができないが、手触りがよくいい匂いがするから好きです。」という声をいただき、貴重な場を提供することができました。

当イベントで印象に残った出来事は、昨年のGIFTS PREMIUMの5周年祭にも来てくれた男子(右写真)が昨年よりパワーアップした積み木のドミノを作ってくれました。この男子は「新聞で出展することを知って、今日はこの積み木のために来ました。」と集中して積み木のドミノを作っていました。このように木のおもちゃは積み木としての役割だけではなく、コミュニケーションツールの1つとして様々な遊び方をすることもできます。

ぎふ木遊館では当イベントで使用した木のおもちゃの他にも約100種類の木のおもちゃと岐阜県産材で作られた木製大型遊具で遊ぶことができますので、遊び足りなかった方はぎふ木遊館でお待ちしています!



ミナモ木のおもちゃとハイ、チーズ



積み木のドミノを作ってくれました!

佳子内親王殿下が御視察されました

「令和7年度全国都市緑化祭」ご臨席に併せて、令和7年5月20日に秋篠宮家の次女佳子さまがぎふ木遊館をご視察されました。

竹下名誉館長から当館の概要説明の後、古沢館長の案内にて木育ひろばをご覧になりました。木育ひろばでは、かぐや第二こども園の年長園児の皆さんと御交流いただき、丸太トンネルを一緒にくぐったり、木育プログラム「積み木遊び」に参加されました。積み木が完成した時に子ども達と一緒に手を挙げて喜ばれる等、常に子ども目線で接していただいたことが印象的でした。



丸太トンネルの中から



館長から積み木の説明



木育プログラム「積み木遊び」

詳しくは、ぎふ木遊館HP「おしらせ」をご覧ください!





やがてみんなの森になる

morinos

レンタルセット紹介!!

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター (morinos) のレンタルセットについてご紹介します!

<使いこなせるとカッコイイ?!森を楽しむレンタルセット!>

morinosでは、森に親んでもらえるように「森を楽しむレンタルセット」を無料で貸し出しています!ハンモックや工作用のナイフといったお馴染みのものから、薪割り台やケリーケトルなど火に関係するもの、さらには各種林業用計測器具などマニアックなものまで!いろいろなものがあります。

今回はレンタルセットの一部についてご紹介します。ぜひmorinosに来たときに使ってみてくださいね!



こちらはケリーケトル。アイルランドで生まれた、ガスを使わず小枝や松ぼっくりなどを燃やしてお湯を沸かすケトル (やかん) です。ケトル全体に熱が伝わりやすい構造をしており、あっという間にお湯が沸く優れものです。

ケリーケトルでお湯を沸かして、家から持ってきたコーヒーとコップでほっと一息つくのも、またカップ麺でお腹を満たすのもいいですね。

※カップ麺などの食べ残しも含め、ゴミは持ち帰りをお願いします。



こちらは林業用の測量セット。左から検縄、ポケットコンパス、ポールの3点セットです。この3つを使って方位角・斜距離・高低角を測ることで、急峻な山の斜面でも面積を求めることができる、昔ながらの磁力を利用した測量器具です。測点を決めて、ポケットコンパスからポール (測点) の方位角・斜距離・高低角をポケットコンパスと検縄を使って測定します。



ファインダーをのぞいて方位角を測るときはスナイパーになったような気分になれます。現在はデジタルの測量器具が主流となりましたが、こういったアナログのものを使いこなす姿もカッコいいですよ!



次に紹介するのは観察マシンです。カップの中に虫や木の実など観察したいものを入れてセットをすると、レンズを通してその場でじっくりと観察できます。上からはもちろん、下からもよ〜く観察できますよ。

観察マシン片手に生きもの採集や木の実探しなども面白そうですね。

morinos HPでは、こうした日常風景からプログラムまで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開館時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

3

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

環境保全林整備事業

事業概要

森林所有者による森林整備の実施が困難な水源地域や渓流域、急傾斜地等の森林について、水源涵養、水質浄化、土砂流出防止、生物多様性保全などの森林の持つ公益的機能の維持・向上・回復を目的とする水源涵養等保全林の整備を進めます。また、人里に近い里山林について、快適環境形成や保健・文化などの機能の維持・向上・回復を目的とする生活保全林等の整備を進めます。

森林所有者と事業実施者、市町村が本事業の実施に合意し、三者で協定を締結し事業者が間伐を実施する場合、県は森林整備に係る費用等を助成しています。

補助対象者

市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、林業事業体、特定非営利活動法人 等

補助率

10/10（上限あり）

水源涵養林等整備の事業内容

- 除伐（5齢級以下の林分）
不用木の除去、不良木の淘汰
- 間伐（12齢級以下の林分）
不用木の除去、不良木の淘汰
- 更新伐（18齢級以下の林分）
不用木の除去、不良木の淘汰、支障木やあばれ木等の伐倒
不用木の除去、不良木の淘汰
- 関連条件整備

効果

間伐を実施した箇所について、モニタリング調査を実施した結果、形状比（樹高÷胸高直径）の改善が見られたほか、下層植生被覆率（地表から高さ50cm以下の植物が地面を覆っている割合）が施業直後と比較して増加しており、地面には雨水により削られた跡も少ないことから、降雨による土砂の流出が防止され、水源涵養機能も高まりつつあるものと考えられます。

これからの取組み

清流の国ぎふ森林・環境基金事業の第3期（令和4年度～令和8年度）5カ年計画に基づき、10,500ha（2,100ha/年）を目標に、引き続き環境保全林の間伐を推進します。

【林内の様子】



実施前



実施後

【樹冠の様子】



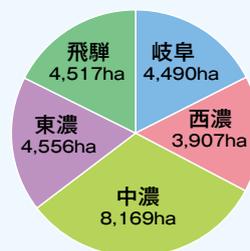
実施前



実施後

圏域別実施面積

平成24年度～令和6年度



生活保全林等整備の事業内容

- 不用木の除去
不用木や不良木、支障木の除去や淘汰
- 修景等環境保全
枯損木等の除去、枝葉の除去、下草刈り等の林床整備
- 森林病虫害の防除
被害木の伐倒、薬剤処理、破碎、搬出運搬等
- 放置竹林の整備 [管理がなされず過密な竹林]
伐倒、林内整理（枝払い、集積）

木の香る
ぎふの施設

147

高山市高根多目的センター (たかね てらす)

木造化

住所 高山市高根町上ヶ洞481番地



施設全景

施設の概要

事業年度	令和5～令和6年度
事業主体	高山市
構造 延床面積	木造平屋建 999.15㎡
施設用途	高山市高根支所、高根まちづくりの会事務所、 多目的室、図書館分館、高根地域診療所
県産材使用量 使用樹種	364.33㎡(高山市産材8割以上使用) スギ・ヒノキ・カラマツ
全体事業費	760,000千円(外構等含む)
助成額	9,010千円(ぎふ県産材利用促進施設等整備事業)
設計者	(有)小林建築設計事務所
施工業者	建築:林・洞口特定建設工事共同企業体 電気設備:(株)大成電気 機械設備:(株)岩佐鐵工所
工期	令和5年12月21日～令和7年3月24日

施設の経緯

高山市高根町の旧高根支所は高根公民館内にありましたが、築47年が経過し、建物の老朽化や耐震基準の問題もあったことから、この度、新たに「高山市高根多目的センター(愛称:たかね てらす)」として建て替えました。

建て替えるにあたり、高山市公共施設等総合管理計画に基づき、施設の複合化・多機能化を図るため、図書館や診療所なども整備しました。

また、指定避難所やバス待合所としての機能も備え、高根地域の拠点施設となっています。



大断面集成材を利用した多目的室



開放感のある図書館



完成を祝ったテープカット

ここに注目!!

木材使用量の8割以上に高山市産材を利用した木造建築であり、中でも多目的室は大断面集成材により、大空間が実現されており、多様な用途での活用が可能です。

利用者の様子

図書館や待合ロビーは吹き抜け構造となっており、開放感あふれる中で、読書や休憩の場として利用されています。

問い合わせ先

高山市役所高根支所 地域振興課
TEL 0577-59-2211



森林と人を生かす知恵 150

歴史をつなぎ山の景色を

「感謝」に変えてくれた先輩の一言

森林文化アカデミー 准教授 ● 塩田 昌弘

先日、ある集落で山主さんと話

していると「山のてっぺんまで、ス

ギ・ヒノキがあるけど、人工林って

災害に弱いし、花粉も飛ばすし、な

んで、こんなにも多くの人工林があ

るのか？」と問いかけられました。

森林林業に携わっていると、しばし

ば受ける質問かもしれません。

皆さんならどんな風にこの疑問

に答えますか。私の場合、こういつ

た疑問に接した時、いつも頭の片隅

に浮かんでくる写真や図、映像、そ

してかつて頂いた大先輩からの一言

があります。今回は、その一部を紹

介できたらと思います。下記二次元

コードから写真などが探せますの

で、ご覧になりながら読み進めてい

ただけると嬉しいです。

○100年前の山の様子

(田上山を例に)

まず写真、滋賀県南部大津市の

田上山(たなかみやま)の大正時代

の様子です。花崗岩地質と(藤原京

や平城京建造など)古くから立木

を繰返し使ってきた結果の光景で

「万年雪が積もったようなはげ山」

と表されていました。現在、身の回

りの山々を見ていると想像できませ

んが、100年ほど前、はげ山は日

本各地にあり、珍しくなかったの

です。

○治水三法と災害規模の変遷

次に、論文「国土の変遷と災害」

中の図(1件の風水害による死亡

者数と人口の推移)です。この図で

は、この100年ほどの森林の充実

と治水の賜物で、土砂災害の規模

が確実に小さくなり現在に至って

ることが説明されています。(近年

の気候変動による豪雨災害は別ス

テージ)

○生涯をかけ天竜川を治めた偉人

また、度重なる洪水を経験し、そ

の治水に生涯をかけた金原明善翁

の逸話も頭の片隅に。翁は、私財を

投じ地域のため次世代のため堤防

工事や植林活動を行いました。それ

程の決意をさせる土砂災害が、ほん

の150年前の浜松市であったこと

を教えてください。

そして最後、大先輩から何度も

聞いた昭和40年代以降の造林期の

話。県内各地に裸山が点在していた

こと、年間数千haもの植栽事業が

あり、山村地域の大きな雇用であっ

たこと、知識や技術に未熟な面も

あったこと、それでも、当時の人な

りに懸命だったこと。

そんな話を繰り返し聞くうちに、山を見上げると「何百本も苗木を担ぎ、てっぺんまで登り、額に汗して植栽する諸先輩方の姿」が見えるようになりました。

植栽不適地への造林や行き過ぎた拡大造林も事実、同時に、当時の汗のお陰様で当たり前緑に覆われた山があり、災害が減ってきたこともまた事実。

「あんなに山のてっぺんまでスギやヒノキを植えて…」そう口にしてきた20年前の私に、様々な昔話は、学生時代に教わった荒廃した森林の姿と、目の前の森林の姿、その点と点をつなげ、まず感謝と共に目の前の山を受け入れ、それから現実的な問題に向き合う、そんな目を与えてくれました。

昔話を聞いた大先輩との散歩の時間は、肩を寄せてきてつばやく一言「罪を憎んで人を憎まず」と、大きな笑い声でよく締めくくられました。僕の大切な歴史の授業でした。



ハナノキを加害する ツヤハダゴマダラカミキリ

森林研究所 大橋 章博

はじめに

ハナノキは、ムクロジ科カエデ属に属する日本固有種です。その分布は、岐阜県東濃地方、愛知県北部、長野県下伊那地方の湧水湿地に限られており、環境省のレッドリストランクで絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。しかし、多くの自生地は土地開発などにより減少し、ハナノキ集団の分断・孤立化が進むなど、ハナノキを取り巻く環境は急激に悪化しています。

そんな中、2023年に外来種であるツヤハダゴマダラカミキリ（以下、ツヤハダ）が岐阜県に生息していることがわかりました。研究所で調査した結果、ツヤハダは街路樹のハナノキを好んで加害しており、このまま、ツヤハダの生息域が拡大すると自生するハナノキ存続の脅威となるのが危惧されます。

そこで、今回はツヤハダの生態と岐阜県における加害状況について紹介します。

ツヤハダゴマダラカミキリとは

ツヤハダは元々中国東部から朝鮮半島に分布する種ですが、1980

年代に北米やヨーロッパに侵入し、様々な樹木を加害、枯死させることから、「世界の侵略的外来種ワースト100」に指定されています。日本では2002年に神奈川県で初めて被害が確認されたものの、完全駆除されませんでした。しかし、2020年に兵庫県で確認されたのを皮切りに、日本各地から発生報告が続く、現在では岐阜県をはじめ、14都県で発生が確認されています。このような急速な拡大を受けて、2023年に特定外来生物に指定されました（このため、ツヤハダを生きたまま持ち帰ったり、飼育することはできません）。

日本には、ツヤハダとよく似たゴマダラカミキリが生息しています。カミキリと言えば本種を思い浮かべるほど馴染み深く、果樹類の害虫としても有名です。両者の外観はよく似ていますが、区別点として、ゴマダラには上翅



図1 ツヤハダ♀

には、ツヤハダとよく似たゴマダラカミキリが生息しています。カミキリと言えば本種を思い浮かべるほど馴染み深く、果樹類の害虫としても有名です。両者の外観はよく似ていますが、区別点として、ゴマダラには上翅

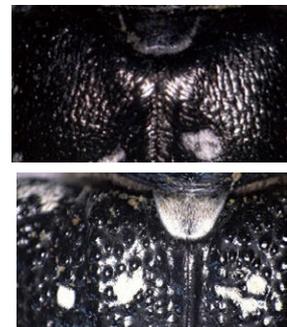


図2 ツヤハダ（上）とゴマダラ（下）の上翅付け根部分
ゴマダラには丸いこぶ状突起がみられるが、ツヤハダにはない

付け根（図2）にこぶ状突起が多数ありデコボコしているのに対し、ツヤハダではつるつとしています。生態面では、ゴマダラは幹の地際や地中部に産卵するのに対し、ツヤハダは幹や枝に産卵します。また、ツヤハダの産卵痕（図3）は特徴的で、直径1から2センチの円形にかみ傷をつけ、その中心に産卵します。産卵痕が新鮮なうちはよく目立ちますが、時間とともに褐色になり目立たなくなります。

岐阜県におけるツヤハダによる被害

ツヤハダの主な加害樹種は、国内ではアキニレ、カツラ、トチノキ、ヤナギ類です。一方、岐阜県内ではハナノキからのみ見つかっており、他樹種からは確認できていません。

2023年に土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市内のハナノキ植栽木498本を調査したところ、半数以上の260本から産卵痕が見つかりました。被害は4市全てで確認されるなど広範囲にわたっており、本種の移動距離を考慮すると、ツヤハダはかなり前からこの地域に侵入していたと考えられます。また、産卵痕が見つかった木の数に比べ、脱出孔は非常に少ないことから、県内でもハナノキ以外の樹種でツヤハダが繁殖している可能性があります。



図3 産卵痕

おわりに

これまでのところ、ツヤハダの被害は、公園や街路樹など人為的な影響を受けた場所に限られています。しかし、生息数が多くなれば山林等へ生息域が拡大する可能性があります。今後は、ツヤハダの発生源がどこかを明らかにするとともに、自生するハナノキの被害状況を明らかにし、地域全体で効果的な防除対策を考えていく必要があります。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-1331-2585

森林研究所まで

飛驒地域の広葉樹活用推進について

飛驒農林事務所 林業普及指導員 田口 正英



●飛驒の広葉樹活用の状況

飛驒地域の管内森林面積（民有林）に対する広葉樹天然林の割合は約58%あり、毎年1万㎡以上の広葉樹原木が生産されています。

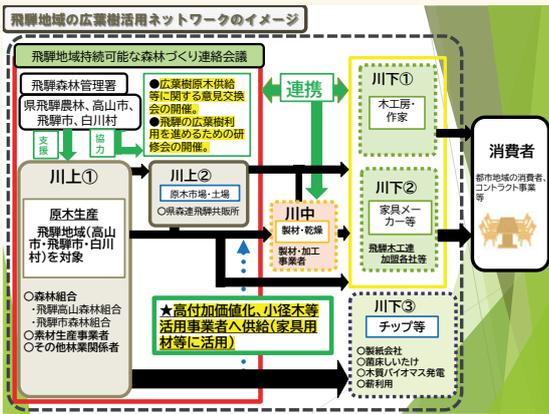
また、材の平均胸高直径は約26cm程度と推計（H28飛驒市広葉樹資源量調査より）され、一方で家具等用材として求められる原木は30cm上（カミ）、末口直径30cm以上が一般的なため、材が出てきても、径が細い所謂小径広葉樹が多く、その9割以上がチップ化されパルプや菌床の原料などに活用されるといわれています。

●先駆的な飛驒市の取り組み

飛驒市では平成26年から「広葉樹のまちづくり」を掲げ、令和2年度には川上・川下の事業者等による「飛驒市広葉樹活用推進コンソーシアム」を設立するなど、小径広葉樹の家具材利用を積極的に推進し、その成果として家具等用材の利用率が高まってきています。

●県の取り組み

飛驒市が先進的に取り組んできたノウハウを共有し、また、行政や川上側の事業者が情報交換を行うことで、さらなる広葉樹活用や再造林等を進めるため、県飛驒農林事務所主導により、飛驒森林管理署・各市村・森林組合等川上側の事業者・県森林組合連合会等関係団体が参加する「飛驒地域持続可能な森林づくり



連絡会議」を令和6年3月に発足しました。

●飛驒地域持続可能な森林づくり連絡会議の令和6年度の取り組み

1. 定例会議

7月、11月、3月の年3回の定例会議において、広葉樹活用に関する勉強会、再造林の実施状況報告、川上側事業者の広葉樹伐採量・供給状況調査、行政の補助事業等の情報共有を行いました。

7月の定例会とあわせた勉強会では、「飛驒独自の広葉樹規格の可能性を探る」と題して（株）やまかわ製材舎の及川氏に講演いただき、広葉樹の多様性を活かした活用の提案がありました。

そのような取り組みの中で、課題となる点を洗い出し、その課題を解決できるように今後の取り組みの方向性を定めました。

2. 研修会の開催

定例会に加え、現地での意見交換会も行いました。令和6年9月27日に高山市清見町菓野俣内の広葉樹

林の伐採現場にて、川上・川中・川下の事業者26名、行政関係者24名を集め、実際の広葉樹林を見ながら、



定例会議の様子。



研修会の様子①



研修会の様子②



写真提供：協同組合 飛騨木工連合会

どのように伐採すれば家具用材として活用可能かを話し合ったり、また、伐採された材をみて曲がり・末口直径等に視点をあて、川上側と川下側でそれぞれの意見を交換しました。これにより、飛騨地域において供給可能な広葉樹材と、活用側が求める材の擦り合わせ(マッチング)を進めることができました。

3. シンポジウムの開催

さらに、令和6年10月20日には飛騨木工連合会主催の「2024飛騨の家具フェスティバル(場所・飛騨・世界生活文化センター)」内において、「ひだ広葉樹活用シンポジウム2024」を開催しました。

今回のシンポジウムでは、地域の川上・川中・川下で活動する人々がコーディネーターやパネラーとして一堂に集い、それぞれの立場から地

域の広葉樹活用に向け、現状や課題を共有しました。市民をはじめとする地域内外の参加者・来場者も議論にまきこみ、広葉樹が持つ多様な可能性を探り、また、経済・環境・社会の視点から広葉樹を通じた持続可能な森・地域・ものづくりの今後のアクションや方向性を検討しました。

● 取り組みの中で感じたこと

広葉樹の流通については、川上側の仕分けが「市場に並ぶA材」と「パルプ・菌床用のC材」に2極化している状況と思われまます。広葉樹の活用を推進するには、川中・川下の利用する側の立場で材をみて、これまでC材として仕分けされていたものを「こうすれば用材として活用できる!」といった提案が必要だと感じています。研修会などを通じて川上・川中の交流を深め、アンマッチな部分を徐々に解消していき、例えば飛騨独自のB材規格を確立する等で需要拡大につなげ、広葉樹の流通を活性化できるといと感じます。多種多様な広葉樹と同じように、広葉樹にかかわる多種多様な人々が協力して、飛騨地域全体で楽しく盛り上げていけるよう普及指導員として活動したいと思えます。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL0577-33-1111

飛騨農林事務所まで

森林技術開発・支援センター きのご通信

8



しいたけ栽培には、「原木栽培」と「菌床栽培」があるのはご存じかと思えます。(商品ラベルにも記載されています)

「原木栽培」で、しいたけを生産されている生産者が、R5年3月に「岐阜県原木しいたけの会(以下「会」とよぶ)」を設立し、活動されていますので、今回はその活動内容と成果を簡単に報告します。

会の目的は、①原木の確保、②生産技術の向上、③販売の促進、④後継者育成の4つの柱としています。

①「原木の確保」

東日本大震災以降、原木の供給は、東北地方からの出荷制限により、長野県の一部や飛騨地域に頼らざるを得ない状況ですが、良質な原木を求め、新たな供給先を模索し、揖斐地域や大分県、北海道から供給が開始されています。

②「生産技術の向上」

使用する原木の多くはコナラですが、クヌギを使用する会員の施設でホダ化(しいたけ菌が順調に生育する状況)の勉強会を開催し、クヌギを導入する会員も出てきています。



勉強会の様子

③「販売の促進」

消費者の手に取ってもらうため、「人と環境にやさしい農場」で生産していることを示すため、「ぎふ清流GAP認証」を積極的に取得する会員も増えていきます。

④「後継者育成」

これまで、個人で、生産や販売をされていましたが、このような活動を行うことで、会員同志のつながりができ、課題解決には、年齢の近い相談者ができたこともあり、後継者も生まれています。

11月号では、「原木の確保」について、きのご振興センターの活動を掲載しますので、楽しみにしててください。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-35-2535

森林文化アカデミー きのご振興センター

技術普及係まで

伊勢神宮 式年遷宮特集

三ツ緒伐りと鳥総立

前回、この地域では、「山口祭(やまぐちさい)」「木本祭(このもとさい)」に次ぐ3番目のお祭りである「御杣始祭(みそまはじめさい)」が6月3日に長野県上松町で行われ、6月5日に中津川市加子母において同様に「裏木曾御用材伐採式」が行われます。と紹介させていただきましたが、このお祭りは、正式に御杣山(みそまやま)での伐採を始めるお祭りです。

このお祭りでは、式年遷宮でも最も重要な御用材である「御樋代木(みひしろぎ)」と呼ばれるヒノキの伐採が行われます。

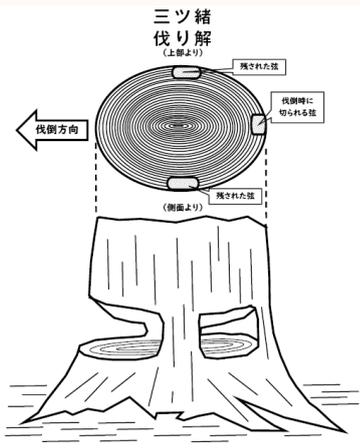
この「御樋代木」とは、「遷御の儀(御神体を新しい正殿へ移す儀式)」の際に御神体をお納めする器となるもので、内宮用、外宮用がそれぞれ1本ずつ長野県上松町、岐阜県中津川市の2か所の国有林より計4本伐採・搬出されます。

ここで行われる伐採方法は、古来より伝わる「三ツ緒伐り(みつおぎり)」と呼ばれる伐採方法を用いて行われます(木曾地域では「三ツ紐伐り

(みつひもぎり)」、裏木曾地域では「三ツ伐り(みつぎり)」とも呼ばれているほか、「三ツ弦伐り(みつづるぎり)」と呼ぶ地域もあります。

この「三ツ緒伐り」と呼ばれる伐採方法は、斧(おの)で伐倒木の三方向より窓を開け、3本の弦を残してすべてくり貫きます。最後に3本残した弦の内、伐倒したい方向とは逆に残した1本の弦を伐り離すことにより、立木を正確な方向に向けて倒す方法で、室町時代にはこの作業方法が確立されたと言われています。

この伐倒方法のメリットとしては、前述のように正確な方向へ立木を倒



せることにより、貴重な木材を傷めることを避けられること。伐倒時に立木の芯の部分が伐根に残ってしまふことにより発生する「芯抜け(しんぬけ)」と呼ばれる伐倒木の根元側に空洞ができてしまうことを防ぐことができること。などがあり、とりわけ大木の伐採に際しては効果的な方法と呼ばれています。

「御杣始祭」「裏木曾御用材伐採式」では、この伝統技法を引き継ぐ「三ツ紐伐り保存会(中津川市)」「神宮司廳(じんぐうしちやう) 営林部」の方々により、多くの参加者が見守る中、この御神木の伐採が行われます。



を立てる「鳥総立(とぶさたて)」と呼ばれる儀式が行われます。これは、山の神に対しこの木をいただいた感謝を意味します(梢から再び根が生えることはありません)。

この「鳥総立」は、歴史で学んだ万葉集にも書かれている儀式で、古来より山の神への感謝を忘れない重要なものなのです。

こうして、伝統的な技法、作法は保存会の方々の手により次の世代へと受け継がれていきます。

新しい技術も必要ですが、山の恵みに感謝するこのような習わしも大切にしたいものです。

(東濃森林管理署)

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
7月9日(水)~ 7月11日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	<ul style="list-style-type: none"> ●講習時間 9日 学科 8:50~17:10 10日 学・実 8:50~12:30 11日 実技 8:30~17:10 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：24,200円(本代含む)(振込み) ●定 員：50名(定員になり次第締め切ります。) 	9日(学科) 10日(学・実) 恵那建設会館(恵那市大井町2087-276) 11日(実技) 加子母森林組合(中津川市加子母4872-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
8月6日(水)~ 8月7日(木)	木材加工用機械作業 主任者技能講習	<ul style="list-style-type: none"> ●講習時間 6日~7日 8:30~17:40 ●申 込：開催日の20日前まで ●受講料：17,600円(本代含む)(振込み) ●定 員：40名(定員になり次第締め切ります。) 	JAひだ吉城宮農センター (飛騨市古川町上野571-1) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

今年の4月から異動により恵那農林事務所から岐阜県環境生活政策課勤務となりました。

主に自然公園や長距離自然歩道内の施設整備を担当しています。

そもそも異動する以前は、自然公園や長距離自然歩道の概念自体を知らなかったということもあり、執筆している現在(5月)でも仕事の進め方はよく分かっていない状態です。その点では右も左も分からなかった新規採用職員だった頃と同じだと思います。当時の私は、「仕事をがむしゃらに取り組む」ことに注力していました。

今は採用4年目で新人とは言えない立場になります。しかし、知識や技量はまだまだ至らない点が多い事も事実です。知識や技量を身に付けていくうえでこれから不安や心配事も増えていきますが、こんな時にこそ初心に戻り、我に返る事も大切だと思っています。また、過去に経験した失敗や学びを異動した今の職務に活用し、仕事をがむしゃらに取り組む事を意識したいと思っています。

「森林のたより」編集委員 環境生活政策課 吉良 信一郎

8月号予定

イベント情報

8月1日
発行

連載

●山の歳時記(240)

清流と森と親しむ

●森林と人を活かす知恵(151)

木と親しむ

●岐阜県の公共木造建築(148)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

●研究・普及コーナー

市況情報

その他

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所 単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配	
第1885回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	14,600	—	→	
		4 m	16~18cm	14,000	—	→	
			20~22cm	14,500	—	→	
			24~28cm	14,400	—	→	
		30cm以上	13,000	35,000	→		
	6 m	16~22cm	17,200	—	→		
	6月10日	ひのき	3 m	16~18cm	21,100	—	→
			20cm以上	18,900	25,500	→	
		4 m	16~22cm	20,700	—	→	
			24~28cm	19,000	—	→	
30cm以上			18,700	38,900	→		
6 m	16~18cm	—	—	→			
第1481回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,500	—	→	
		4 m	24~28cm	14,600	—	→	
			30cm以上	14,000	—	→	
	ひのき	3 m	16~18cm	21,000	—	→	
		4 m	20~22cm	20,500	—	→	
			24~28cm	19,500	—	→	
			30cm以上	—	—	→	
		6 m	16~20cm	—	—	→	
	6月11日	ひめこ	4 m	24~30cm	12,000	—	↘
			30cm以上	12,000	—	↘	
5 m		40cm以上	—	—	↘		
くり		4 m	24cm以上	14,000	—	→	
第1815回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,700	—	→	
		4 m	24~28cm	14,400	—	→	
			30cm以上元	15,000	22,000	→	
	ひのき	3 m	16~22cm	21,300	29,000	→	
			24~28cm	20,000	33,000	→	
			30cm以上元	28,000	31,000	→	
		4 m	13cm以下	12,000	—	→	
			16~22cm	21,300	—	→	
			24~28cm	19,800	29,000	→	
			30cm以上元	29,000	79,000	→	
6 m	18~22cm	29,500	—	→			
まつ	4 m	30cm以上元	—	—	→		

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

スギ4mの元木、尺上良材は、入札多数で活気あり、価格は保合。スギラミナ向け3m・4m材は保合。ヒノキ元木良材4mは入札旺盛で活気あり、価格は強含みで引き合いは強い。ヒノキ3m・4m構造材の価格は強含みで推移。合板向けの価格は強含みで納材は順調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

スギ、ヒノキ並材は横ばいで推移。広葉樹は全体的に弱含みであるがカエデ、サクラは旺盛である。高値はサクラ4.0m×38cm@34,700円、ホウ2.1m×26-28cm@25,600円、ナラ2.1m×38-40cm@31,300円、イチイ1.4m×42cm@206,000円(本代51,000円)、モミ4.0m×58cm@24,000円、カエデ3.0m×40cm@39,300円、ミス×2.1m×32-34cm@32,400円(飛騨)

出材量は、スギ、ヒノキ共に横ばい。ヒノキ、役物良材は応札多数で活気。3m・4m材は全般に保合。4m尺上材は引き合いが強い。中目良材も地元工務店を中心に強気は継続。2m尺上材も引き合いは強いが20cm以下は弱保合。スギ、中目尺上元木良材は、底堅く価格保合で推移。目荒等並材は価格も伸び悩み売りづらさは継続。4m(24cm以上)構造材は保合、同3mも保合推移。6m長柱向け(18cm~22cm)は引き続き好調を維持。合板向けは、価格保合ながらも納材は順調。ラミナ向けはスギ、ヒノキともに活発な動きあり。(東濃)

製品卸売標準価格 (5月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	68,000	(2,249)	→
	間柱	3000	105	30	1等	70,000	(662)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	80,000	(3,528)	→
	柱	3000	120	120	特等	75,000	(3,240)	→
		6000	120	120	特等	155,000	(13,392)	→
W 集 成 材	柱	3000	105	105	国産5層	85,000	(2,800)	→
		3000	120	120	国産5層	88,000	(3,800)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (5月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	396	→
	コースト(目荒)	432	→
米楡	ヘム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに? ~木材用語~

さいわり 再割

丸太を半製品の板(原板)に製材し、ギャリングリッパー等の木工機械を使ってタルキなどの小割り材を量産する手法。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典